私たちの広場

骨折り損はくたびれる

大淀東第一大淀クラブ　北区　黒田　健一

私は過去に4回も腰の激痛に見舞われた。そもそもの原因は柄にもなく重い荷を背負ってアルプスを歩いたからに違いない。最近はお歳の所為と言われたくはないが、意思に反して勝手に足がよろめく。

ところで先日よそ見をしたばかりに階段を踏み外しアッという間に転倒した。脳の指令も待たず左手が主をかばおうと勝手に前に出たから堪らない。体重を支え切れずに見事「左橈骨遠位端骨折」。たちまちにしてギプスの虜になった。お相撲さんは受身の稽古ばかりしているから滅多に手首の骨折など起こさない。

腰痛を庇っていた左手には暫くお休みを頂こうと言ったら、今度は腰骨がやきもちを焼いて激痛が始まった。もう少しバーツ同士は仲良くして欲しいものだ。

「皆さん、転んだら即骨折ですよ。転ばぬ先のけがの保険！」と常日頃から話していたのに「アーア、格好の悪い。こんなことなら受身を稽古をしておけば良かった。今から百歳までまだ20年、少しは上手になるだろう？ところで命の保証はどうしよう？」。

暫く使えぬ左手に思わぬことで朝の連続テレビ小説の「水木しげるさん」のご不自由を垣間見ることになった。怪我をしておきながら何処の世界にギプスの左手をスケッチするお方がいるかと思いつつリアルな絵ハガキを1枚完成（イラスト）。それは全てを受け入れ、明るく前向きに物を考えようと決めたからだ。皆さん本当に気を付けましょう。

ベル悠悠会

都島区　大野　敬二

HAYABUSA 感動ストーリー

7月15日、ベル悠悠会の歩こう会として、大阪市立科学館へいま話題の日本の小惑星探査機「はやぶさ」の感動ストーリーを29名で見に行きました。

「はやぶさ」は日本が打ち上げた宇宙探査機で7年に亘って太陽系を旅し、幾多の苦難を乗り越えて小惑星「イトカワ」の微粒子を持ち帰りました。カプセル内には少量の微粒子が入っていると報じられており「イトカワ」のものと確認されれば試料採取に成功した世界初の快挙となります。

今後詳しい分析を行い、結果がでるのは年末頃になる予定で、大いに期待したいものです。

フルドームに映し出された壮大な宇宙の光景は美しく迫力があり、まるで宇宙旅行をしているような感覚になった会員皆様方も大変感激された様子でした。

宇宙が誕生して13億7億年。夜空には無数の星がありますが、肉眼で見える星の数は約3千個と言われています。その中でも想像を絶する巨大な星はアンタレス（赤星）。仮に、「太陽の大きさを手の握りこぶし大とすると地球は米粒ほどで、アンタレスは科学館のドーム以上の大きさになる」との説明に、会場内はワァーと驚きの声が上がりました。これはもうロマンの世界そのものです。

数字上では、地球を1として、太陽は109倍、アンタレス（赤星）は10万倍になります。

9月、夜の帳がおり始める頃、南西の低い空にアンタレス（赤星）が赤く輝きます。宵の明星（金星）が西の方向にキラリ。真上に織姫、南に彦星と天の川。乙女座（西）、さそり座（南西）などを探して夜空を見上げるのも風情があるものと思います。星に願いを……。

謎の音の正体とは

大阪西瑞光コーポ老人クラブ　東淀川区　阪本　久雄

某中学の体育館で卓球の練習をしていたときのことです。

体育館は、南面のバス道路と北面の墓地に挟まれた格好で建っており、照明は暗めです。朝から〝しとしと〟と雨の降る7月のある日。練習は午後の7時からです。この日は男女各4名の計8名が南北に対峙する形で練習をしていました。8時少し過ぎた頃、体育館の北西隅の天井をこえたあたりから、「ぐいーっ！」という下手な弦楽器の低音部の響きのような音？声？がしたのです。

8人全員が一斉に動きを止めました。その瞬間、北側にある墓地のことが脳裏を過ぎりました。館内の西側には、照明の消えた暗い舞台があります。墓地からその舞台を通り何かの気配……？

静寂の時が流れ、女性のひとりが「こわい！」と言いだし、もうひとりの女性が「みんな、おるんやから…」となだめる場面も。ようやくして、全員気をとりもどし西側の暗い舞台を気にしながら再び練習を開始。

現実は、それ以上、何事も起こりませんでした。

ほぼ一年が過ぎたある夜、外出から帰ってわが家の玄関扉を開けたときです。室内から昨年と同じあの「奇音」が聞こえてきたのです。落ち着いて聞き耳をたてました！

「いしやきいもー、やきいもー…」遠くから拡声器の声が風に揺らぎ、時に大きく歪んで流れてきていたのでした。

〝人生楽しく〟が私の生き甲斐

淡路寿会　東淀川区　三浦　君枝

私はこの年になってフト考える。人生の生き甲斐とは何なのだろうと！　生き甲斐も時代によって変わる様だ。若い時は夫婦で目標を決め頑張り、子育ての時は成長を楽しみに、そして孫子が出来、その孫子も成長と共に足が遠のき、夫が亡くなり、ようやく自分自身を振り返って「今なにがやりたいのか」と考える。

定年とともにやりたかったことを片っ端からやって、足腰の痛みを感じる年となるとなんとなくすべての物が億劫になる。目はかすみ、継い物でも針を持つのが面倒になる。

しかし皆が集まると共通の話題で花が咲く。痛みを乗りこえ友とつどうことが一番の治療の様にさえ思える。話しというものは一方的であったりするといつまでも親である。話しというものは一方的であったりするといつまでも親である。

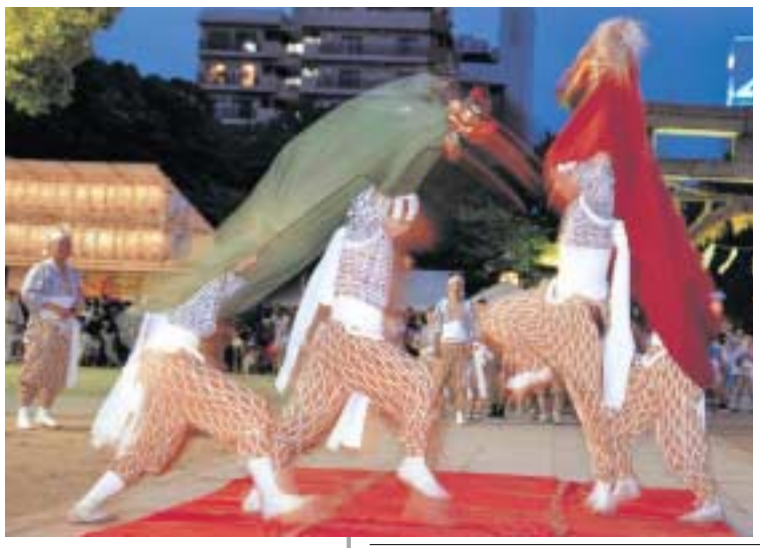
自慢の1枚

読者の写真コーナー

真夏の暑い夜　勇壮な獅子舞

7月11日撮影　池田　弘さん（中央区東平）

生国魂神社の夏祭りです。御本殿前での奉納獅子舞〝雌雄の舞〟の力強い舞い姿に思わずシャッターを切りました」



中本第三米寿会

東成区　井西　康郎

自然の恵みが初夏の思い出

窓から忍び込んで来るさわやかな風に目を覚ました。梅雨晴れ間の昼寝時だった。

昔の旧暦では梅雨は五月だったので五月雨と呼ばれたが、六月の異称である〝水無月〟はどうにも合点がゆかなかった。よく雨が降るのに？　隠居の特権、時間があるので広辞苑を開いた。元は〝水の月〟と言い水を田に引き入れる月、即ち田植の月であるとの説明に納得。

初夏を迎えて皆さんはどんなことを思い出しますか。稲田を渡るさわやかな風、眠気を誘う宵の口の蛙の合唱、藪陰に乱舞する蛍、燕の子育て…。いろんな思い出が浮かんでくるでしょう。私の衰えた頭の中の走馬灯が映し出したものは、女の子の素朴な遊び〝セッセッセ〟だった。「夏も近づく八十八夜　野にも山にも若葉が茂る　あれに見えるは茶摘みじゃないか　茜たすきに菅の笠　トントン」向き合って座った二人が軽快なリズムに乗って茶摘み歌を唄い、相手の掌と合わせて拍子を取りながら遊ぶ遊戯で、初夏の訪れの喜びを身近に感じさせてくれたのだった。

それと共に子ども達にとって最も大きな楽しみは、おやつ代わりの食べ物が野や山に沢山実を付ける季節の到来だった。昔の田舎ではおやつを求める店はなく、またその余裕も無かったので自然の恵みを頂けるよう親達が住居の近くに果樹を育ててくれた。ユスラウメ・グミ・スモモ・桃・杏・ぶどう・枇杷・ヤマモモ・ハランキョウ…。養蚕が盛んだったせいで、野生の桑の実も小籠に摘んで味わうことが出来た。また野山には木苺が赤や黄の実を付けて子ども達を迎えてくれたのであった。高価なお菓子にも勝る自然の恵みが、お腹を空かした子ども達の胃袋を満たしてくれた初夏だった。

悩みはあんがい共通していて一生を送ってくれる様にとか、年をとってもいつまでも親であることには変りない。いつか自分が子どもみたいに下の世話をしてもらっていたとしても心の中は子どもや身近な人の幸せを祈っているであろうと、介護のボランティアをさせていただくたび考えてしまう。

生き甲斐とは又振出しにもどると今は友と踊ったり歌ったり、一日一人に会い、迷惑をかけない様、少しでも人の役に立つよう、常に自分自身と戦いながら楽しく生きていけることだと私は思うのだが？

社会福祉の課題と　どう向き合うのか

日本では、家庭内で生じた問題について、家族、親族や地域における知人や職場関係で対応をはかり、外部の機関や組織などに依頼することなく、問題が深刻化した時点で、行政や福祉事務所などへ相談してきた。

しかし、資本主義の展開に伴い、核家族化・単身赴任・離婚が増加し、援助する家族の不在など高齢化に関する問題は、誰でも平等に訪れる認識から、国民にいずれ直面するものと自覚されることとなった。

社会福祉に関する国民の考え方が根本的に変わるものとなった。このため、家族として高齢者への介護にのぞんでも、体力の減退などで当事者が解決できない。

この現実に対し、家族介護から社会福祉サービスとしての介護保険制度に移行した。また、施設介護利用者（33万人）を少しでも在宅介護に転換し、当事者に関するニーズの多様化に伴うサービスの自己選択、自立支援を重視する社会福祉基礎構造改革の理念のもと、地域社会で幅広く暮らすデイサービスや予防にも力を注ぐような価値が生じている。

生命に直結している医療と介護を「安全保障」と認識（注1）する指摘もあり、ショートステイやデイサービスを利用することを通じ、当事者にとって、めりはりのある取り組みとともに、家族介護を和らげるなどの方策が取り入れられてきた。

2000年4月、介護保険制度が実施され、サービスが「措置」から「契約」に転換し、当事者の自己決定や選択ができるシステムとなり、医療においてもインフォームド・コンセントが取り入れられ携わる専門職に求められている。

そのためにも、地域を基盤とした社会福祉支援活動を専門職のみならず、ボランティアも含めたケアマネジメントやネットワークの手法も取り入れ、チームアプローチで協働して、のぞんで行くことが肝要である。

当事者と医療及び介護に携わる専門職とのパートナーシップを定着させるには、当事者が持っている力を最大限に支援し、その自覚のもとに展開していくことが、医療や介護にかかわる者すべてに課せられた責務であろう。

（注）鈴木厚「安全保障としての医療と介護」（朝日新聞出版）

（大阪市シルバーボランティアセンター　副所長　田中武夫）

大阪市シルバーボランティアセンター

第2回　ボランティアスクール開催

「高齢期をよりよく生きる」をメインテーマに

平成22年度第2回大阪市シルバーボランティアセンター「ボランティアスクール」が、7月28日、大阪市立いきいきエイジングセンターで、ボランティア40名の参加を得て開催された。「高齢期をよりよく生きる」というメインテーマで、大阪市立大学大学院生活科学研究科・畠中宗一教授の講演「関係性を生きる―フロム『生きるということ』を手がかりにして」がありました。

講演では、「配偶者や子どもに対し、自らの思いとして愛情があることを伝えていますか？」という問いが参加者に投げかけられた。意外と聞き方はそれぞれ異なり、感じ方や受け取り方にも差異が認められ、真意が伝わっていないことが多いものである。とにかく、照れずにメッセージを送ることが大切である。

第二次世界大戦後にかけて、ドイツやアメリカ合衆国で活躍した社会心理学者であるフロムは、ドイツにおける「操られた方がまし」と考えたファシズム勢力と対峙し、「自由からの逃走」等で、自由は責任を引き受けることであると主張した。「To have or to be」を著した晩年、地位・役職・金銭等を「持つこと」に比重を置き、家族・仲間等と「あること」を軽んじる中で社会病理を深めていると指摘している。対人関係のトレーニングにおいて、非日常的な体験から、参加者が関心を持って向き合い「見る」ことが重要視され、相互に関係性を生きることを通して、自ら変化や成長を経験できる。すなわち、あるがままの自己を受け入れられる評価軸が通常の社会には認められない。高い目標を設定し、それが到達できないと自尊感情が低くなり、自らあるがままに見、個人性並びに普遍的な人間性において見る限り、所有欲や名誉欲を離れ「あること」（to be）が可能。当たり障りのない人間関係が普及し、関係性を生きる力が落ちている現況において、他者への誠実な関心を持って、自然災害等の非日常的又は社会福祉の日常的ボランティア活動に携わることは、喜び、ありがとうという他者の反応は、当事者にとって生きがいであり、エネルギーともなっている。

今日、問題や葛藤を回避する傾向のある中で、「一期一会」には有限のもとで真剣に取り組むことを通じて、あるがままの死を考えることによって、他者に対する誠実な関心を持たれていると理解でき、関係性の中で心豊かによりよく生きることが可能となる。

参加者から、自らの家族としての体験に基づく夫婦の生き方の差異や、死を目前とした友人関係について、心の糧ともなる生前の便りについての発表がありました。ともに、対人関係の絆の大切さを痛感する内容のボランティアスクールとなりました。

投稿規定

【文芸】俳句、短歌、川柳のうち1人3句、3首以内。種別、住所・氏名・電話番号・所属クラブ名を明記。必ず郵便はがきで。締め切りは毎月10日必着。

【書】タテ67㎝×ヨコ17・5㎝の書の用紙を使用。氏名・クラブ名などは封筒に明記。ほぼ3カ月に1回掲載で1人1点。80円の定形封筒に書を折り曲げ封入可。

【俳画】ほぼ正方形の用紙を使用、住所・氏名・所属クラブを明記。

【私たちの広場】原稿用紙に1行10字で60行ぐらい。住所・氏名・所属クラブ・電話番号・私たちの広場と明記のこと。締め切りは毎月10日必着。写真付きも歓迎します。

【クラブ便り】原稿用紙に1行10字で50行ぐらい。活動内容が他のクラブの参考になるような前向きなもの。クラブ名・会長名・報告者名を明記。写真はプリント普通サイズで。締め切りは毎月10日必着。

【自慢の1枚（写真コーナー）】写真はプリントで、撮影の年月日、簡単な説明か、感想を付けて下さい。住所・氏名・電話番号・所属クラブ名を明記のこと。

《原稿の採否、文章の添削は編集室にご一任ください。原稿・写真はお返しいたしません》

【宛て先】〒556―0017　大阪市浪速区湊町1の4の1　OCATビル　大阪市老人クラブ連合会「月刊大老連編集室」

オーダー&リフォーム
思い入れのある服のリフォームを
デザインルーム　モード
〒536-0023 大阪市城東区東中浜2-12-28-111
TEL. 06-6961-5716
洋裁教室オープン
着物のリフォームなども
月3回（曜日は自由）

やすらぎと法話の旅　霊場めぐり専門旅行社の自信作　おかげさまで大好評！
第一回　無病長寿・ぼけよけ祈願　大阪発着！　日帰りバス
二十四地蔵尊霊場めぐり
人々の苦しみや、病気の身代りになってくださるという　お地蔵さま
月1回 全6回で　お気軽　満願！　地蔵菩薩の縁日、24日にちなんで、大阪・奈良・和歌山の24ヵ寺を巡ります。
各寺院ではご住職と一緒におつとめと「法話」が受けられます。
百聞は一見にしかず、ご参加のうえ実感ください。
⑦霊場めぐり専門の旅行社だから！　本来のお寺めぐりを追求。心のオアシスを訪ねる。
②住職と一緒のおつとめと、法話がありがたい！　癒しとうるおいのあるお参りを。
③ゆっくりとお参りいたします！　時間をかけてらくらくと…ご年配の方も安心。
④昼食はこだわりのお食事処で！
⑤心づくしの接待も楽しみです！
⑥1回だけの参加もOK！
お一人の参加も大歓迎です！
実績20年の名物添乗員が納経取りを代行。ユーモアあふれる会話も好評です。
3大ポイント
参加者にプレゼント！
①招福・開運の雑賀紀光画の『宝船』
②仏前のおつとめの経本
③納め札
秋季募集　霊場開創一二十五周年記念
この内容で　旅行代金（お一人・昼食付き）　4,800円（消費税等諸税を含む）
行程　出発地➡①法輪寺➡●紀三井寺〈昼食・拝観〉➡②高野寺➡㉓長慶寺➡各地（18時頃）　※昼食は「はやし」で名物の"鯛しぶき"の定食を。
第1回は、日帰りで和歌山市の霊場会初代会長・故藤田俊乗和上の法輪寺、厄除け弘法大師の高野寺、泉南市の迫力ある太鼓でおつとめと庭園観賞の長慶寺、番外で「西国・第2番」紀三井寺（自由拝観）をバスで巡ります。
発着地　10月1日(金)・4日(月)　梅田　午前8時30分出発　難波　午前8時50分出発　午後6時頃帰着
●添乗員同行●最少催行人員30名●掲載当日満席の場合もあります。●詳しい旅行条件は事前に書面で確認の上お申し込み下さい。
ご予約・お問い合せは　0120-882-401　通話料無料（受付／午前10時～午後6時 日祝休み・土曜日午後3時まで）　ホームページ http://www.kojisyujun.com/
旅行企画・実施：古寺集巡会　大阪市北区西天満 3-7-17-602　大阪府知事登録旅行業 第2-2038号　(社)全国旅行業協会正会員
協賛／霊場会事務局（法輪寺）和歌山市吉田495

軽費老人ホーム　ケアハウス　春の家
介護保険（特定施設入居者生活介護）適用施設。全個室でプライバシーの守られた環境です。介護を必要な方でも入居でき、ご夫婦の為の2人部屋もあります。
●入居費用（月額）　おおよそ6万～14万（居室の電気料金を除く）　※年収と支払方式の選択により料金が変わります。
●介護費用（月額）　おおよそ6千～3万（おむつ代など別途必要）　※介護度により料金が変わります。詳しくは、お問い合わせ下さい。
お問い合せは　社会福祉法人 一梅会［担当：道田］　Tel.0721-33-2940　大阪府富田林市大字佐備2497-5

倶会一処
御参詣の折には、御宿泊御食事のお申し込みをお待ちしております。
大老連納骨供養塔　指定宿坊菩提所
高野山別格本山
本王院
電話　〇七三六局　代表（56）二一三四番　FAX〇七三六―五六―三三五三

往復直行バスでいく　はわい温泉4日間
お泊りは・・はわい温泉/千年亭
◆出発日：10月3日、5日、13日、20日、26日　◆食事付（朝3・昼1・夕3）　◆添乗員無　◆最少催行人員1名
◆旅行代金

3名1室	2名1室	1名1室
24,800円	29,800円	37,800円

☆10月20日、26日出発は2000円増し。

1	梅田(8:30)＝＜高速道路＞＝＝はわい温泉　12:50頃着　はわい温泉泊
2	ホテル＝＝優人人者・今滝・倉吉(自由散策)＝＝ホテル　はわい温泉泊
3	※近隣温泉への送迎バスのご案内があります。
4	ホテル(15:00発予定)＝＝賀露港＝＝＜高速道路＞＝＝梅田(20:00)

お申込・お問い合わせは・・06-6311-2168　旅行企画・実施／名鉄観光サービス㈱梅田支店　詳しいパンレット送付いたします
観光庁長官登録旅行業第55号／池田本旅行業協会　大阪市北区堂山町3-3　総合旅行業務取扱管理者：河谷福生　営業時間：10：00～17：00 土日祝休
名鉄観光の湯治癒しのたび

～仏事、信仰、人生相談～
大阪仏教テレホン相談室
TEL（06）6245―5110
月～金曜日　PM2:00～5:00（祝日を除く）
浄土宗・融通念仏宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真言宗・天台宗・臨済宗・曹洞宗・真宗高田派・真宗佛光寺派・日蓮宗
以上10宗派の僧侶が相談をお受けします。

認定補聴器専門店
よりよく聴えに役立つ!!
「老人性難聴」小冊子差し上げます。大阪大学医学部教授　久保　武著
補聴器
耳穴式（カナル）　あなたの聴力に合わせます。ぜひご相談を!!（駐車場アリ）
☎06(6441)3023
アフターサービス万全／創業1911年
㈱吉田勝恵商店
〒550 大阪市西区靱本町1-18-7
京都店　☎075(841)0406
神戸店　☎078(576)1331